

報恩講日程



報恩講について



23日 (金)	13:30 (引続)	初逮夜 門徒法要 法話 高名 和丸 氏
24日 (土)	7:00 13:30 (引続)	晨朝兼日中 逮夜 音楽法要 法話 高名 和丸 氏
25日 (日)	7:00 13:30 (引続) 16:30 17:30	晨朝兼日中 中逮夜 法話 高名 和丸 氏 おつとめ教室閉講式 初夜勤行・御伝鈔拝読
26日 (月)	7:00 13:30 (引続)	晨朝兼日中 逮夜 法話 狐野 秀存 氏
27日 (火)	7:00 10:00 12:00 14:00 (引続)	晨朝兼日中 北海道教区社会教化部門講演 宇都宮 力 氏 帰敬式 結願逮夜 信悟院鍵役御参修 法話 狐野 秀存 氏
28日 (水)	7:00 7:50 9:30 10:30	結願晨朝 法話 狐野 秀存 氏 法話 狐野 秀存 氏 結願日中 信悟院鍵役御参修 (12時頃終了予定)

◇講師紹介

23日～25日 **高名 和丸 氏** (青森県 正行寺)
講題「お念仏のすくいー観無量寿経を通してー」

26日～28日 **狐野 秀存 氏** (元大谷専修学院学院長)
講題「『念仏の息』の人」

報恩講参詣のご案内

報恩講とは、宗祖親鸞聖人の御祥月命日に勤められる法要で、真宗門徒にとっては一年でもっとも大切な仏事として勤められてきました。

私たちが生きていくうえには親の恩や師の恩など、いろいろなご恩があります。それぞれ大切なことですが、報恩講の「恩」とは、なにより親鸞聖人がいただかれた念仏の教えに遇い、自らが生きる依り処を教えていただいたご恩のことです。

そのご恩を報謝し、共に念仏申す身となっていくことを誓うことが報恩講の大切な意味です。「真宗門徒の一年は報恩講に始まり、報恩講に終わる」と言われます。是非この機会にご参詣、ご懇念いただきますようお願い申し上げます。

音楽法要

札幌別院では毎年報恩講に音楽法要をお勤めしております。崇敬区域の御寺院の合唱団の方々や、学生のみなさんにもご協力頂き、大変華やかな法要となっております。



門徒法要

門徒法要とは普段の法要では僧侶が勤める導師や鑿役、巡讃といった法要中の役割をご門徒が中心となって担って頂きお勤めする法要です。



御伝鈔

『御伝鈔』は正式には『本願寺聖人伝絵』といい、親鸞聖人の曾孫である、本願寺第三代の覚如上人が撰述された絵巻物です。宗祖親鸞聖人の伝記として最初のものであり、親鸞聖人の御生涯を感銘深いエピソードを交えて後世に伝えています。



北海道教区社会教化部門パネル展示

真宗大谷派北海道教区には社会教化部門に三つの部会があります。差別問題研究部会はアイヌ民族に対する差別や「北海道開教・開拓」の検証、靖国問題研究部会は非戦・平和、社会問題研究部会はハンセン病問題を中心に、それぞれの課題について学習を続けています。

2007年、社会教化部門では三部会合同事業として展示用パネルを作製いたしました。近現代の諸問題について学ぶとともに、「今、私たちが問われていることは何か？」共に考えていきましょう。また、27日10時から宇都宮力氏による講演も予定しています。